

町生涯学習センター・図書室

☎ 096-234-2447 (内線331)

■開館時間 午前9時～午後5時

■休館日 毎週火曜  
年末年始

■貸出冊数 1人5冊まで

■貸出期間 15日間



### 「勤労感謝の日」コーナーの紹介

11月23日の「勤労感謝の日」にちなんで、特集コーナーを作りました。日常生活は、あらゆる人たちの仕事で成り立っています。生活を支え、彩り、技術や知識で社会に貢献するさまざまな仕事について、児童書から一般書まで集めました。



▲「勤労感謝の日」コーナーにぜひお越しください

特に中高生の皆さんには、将来の自分の職業について具体的な目標を持つ手助けとなる「なるにはBOOKS」を100冊以上所蔵していますので、ぜひ役立てていただけたらと思います。

### 0歳児からのおはなし会について

図書室では、毎月第2木曜日に「0歳児からのおはなし会」を行っています。絵本の読み聞かせや、手袋人形、手遊びうたなど楽しい内容です。子育て中の保護者の皆さん、おじいちゃん、おばあちゃんも子どもたちとお気軽にご参加ください。

### 日時

11月9日(木) 午前10時30分～

### 会場

おはなしのへや(甲佐町生涯学習センター図書室内)

## 新着図書紹介

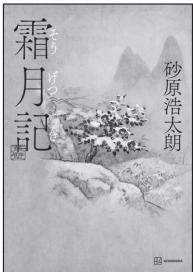
### 小説



#### かたばみ

木内 昇 著 / KADOKAWA

女性の生き方もままならない戦後の混乱と高度成長期の中、小金井で教師をしていた梯子は、よんどころない事情で家族を持つことに…。血の繋がらない親子を描く、笑いと涙のホームドラマ。心に響く言葉に満たされる1冊。



#### 霜月記

砂原 浩太郎 著 / 講談社

18歳の草壁総次郎は、前触れなく致仕して失踪した父に代わり町奉行となった。名判官と謳われた祖父・左太夫は、若さにあふれた総次郎を眩しく思って過ごしていたが、ある日、遊里で殺人が起き…。味わい深い時代小説。



#### リスペクト R・E・S・P・E・C・T

ブレイディみかこ 著 / 筑摩書房

ホームレス・シェルターに住んでいたシングルマザーたちが、理不尽な理由で退去を迫られた。女性たちは連携して立ち上がり…。2014年にロンドンで実際に起きた占拠事件をモデルにした小説。尊厳と勇気に胸が熱くなる1冊。

### 一般図書



#### ロバのスーコと旅をする

高田 晃太郎 著 / 河出書房新社

イランで2頭のオスロバと、トルコで「ソツルベ」と、モロッコで「スーコ」と…。ロバとの旅路を「太郎丸」名義でSNSに投稿し、話題になり書籍化。彼らと歩いた日々、出会いと別れ、葛藤が描かれ、一緒に旅を楽しめる1冊。



#### 血管を強くする循環系ストレッチ

中野 ジェームズ修一 著 / サンマーク出版

血圧、血糖値、体脂肪率のほか、骨粗しょう症にも効果が！筋肉のポンプ作用を最大限生かして効率よく血流を増やすことを狙ったエクササイズを紹介。血流の悪い体の疾病リスクも解説。無理なく継続できるストレッチです。



#### やさぐれトラックドライバーの一本道迷路

橋本 愛喜 著 / KADOKAWA

毎日84万人が運送する日本の血液、「物流」の裏側。物流のイマがわかる社会派エッセイ。笑って泣けて怒れる哀憐エピソード集なのだが、物流業界の現場の声から、多くの問題を抱えていることが分かる。考えさせられる1冊。

竜野の城平（じょうびら）には板碑（逆修碑）があります。石材は砂岩で碑の中央上部には、阿弥陀如来のキリーク文字が刻まれています。銘文によれば、貞阿弥陀を筆頭に6名により大永5年（1525）2月28日に建立されたことがわかります。

本町には、板碑（逆修碑）が、20基以上あります。板碑が建てられたのは戦国時代の1500年代に集中しています。板碑は亡くなった人を弔うお墓ではありません。板状の石に、仏を表す梵字や供養者の名前、供養した年月日、供養の内容などが刻まれています。

白旗地区の四堂崎にある阿弥陀如来像板碑も大永5年（1525）建立と記されています。この板碑には53名の法名が記されています。地域住民男女が生前供養合同法要を営んだ事実を伝えているのです。

また乙女地区の「田原板碑」も大永5年に建立された結衆板碑です。四堂崎の板碑、城平板碑のある地区とは緑川を隔てた場所になります。

この頃の甲佐町は、阿蘇大宮司職を巡る一族の紛争、そして甲佐町の統治が小康状態の頃です。戦乱の中では、農民もさることながら武士といえども平和に安穏と暮らすことは至難のことであったに違いありません。

本町に点在する板碑（逆修碑）は当時の人々の「現世安穏 後世善処」の言葉のとおり生きる事への支えとなるものであったと思われます。



◀ 竜野の城平にある結衆板碑と呼ばれる石碑

お問い合わせ先

町社会教育課

☎ 096-234-2447（内線324）

## 人権 心豊かに暮らすために

### 外国人への差別・偏見を無くすために

#### ■ 多文化共生の地域づくりを目指して

国際化の進展に伴い、日本に在住、あるいは訪問する外国人が増えています。就労差別や入居・入店拒否など、日常生活において差別事例が発生しています。

県においても、在留外国人数は増加傾向にあり、観光やビジネスなども含め、諸外国との人的・物的交流の規模は今後も拡大していくと考えられます。

外国人に対する偏見や差別は、異なる民族・国・地域・文化などについて正しい理解がなされていないことや、外国人や異文化に対して閉鎖的になっていることなどが要因だと考えられます。いろいろな国の人と交流し、歴史や文化の違いを知ることでお互いを一人の人間として認め合い、尊重し合う関係を築くことが大切です。

#### ● どんな課題がありますか

アパートへの入居や店舗への入店、施設の利用などを断られることがあります。また、就業を断られたり、就業した後の待遇面で差別されたりするこ

ともあります。さらに、さまざまな店舗や施設、公共機関などで十分なサービスを受けることができないといった問題もあります。

ヘイトスピーチは、特定の民族や国籍の人々を誹謗中傷したり、排斥したりする言動です。こうした言動は、人々に不安感や嫌悪感を与えるだけでなく、人としての尊厳を傷つけたり、差別意識を生じさせたりすることにもつながりかねません。

#### ● 熊本県の主な取り組み

- ・外国人との相互理解を深めるための啓発や交流の推進
- ・多文化共生の地域づくり

令和元年（2019年）には外国人サポートセンターを開設し、外国人が安心して暮らせるように、多言語による生活相談を行っています。

※熊本県教育委員会啓発チラシより作成

#### ● お問い合わせ先

町社会教育課

☎ 096・234・2447

(内線324)